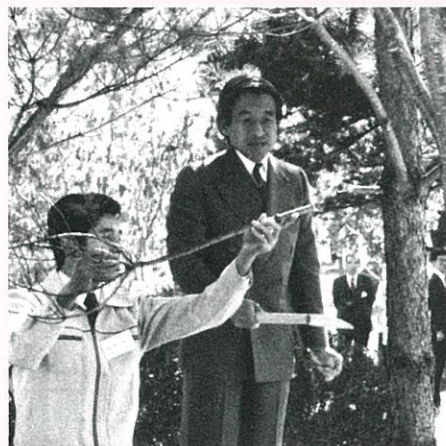




岩手郡松尾村の県民の森で開催の第8回全国育樹祭にご出席のため来県された皇太子ご夫妻は、10月13日から3日間のご日程を無事終えられ、15日お帰りになった。

両殿下は、13日午前10時55分に花巻空港着の東亜国内航空機で来県。10年前の全国植樹祭の時に天皇、皇后両陛下がお泊りになった花巻温泉佳松園を皮切りに、各地を訪問された。

ご視察先では、本県の自然や産業、文化などに強い関心を示され、予定時間を超えることもしばしば。沿道で歓迎する県民にも笑顔でおこたえになったほか、気軽に手を差しのべられるなど多くの県民に感激をお与えになった。



▲10年前に天皇、皇后両陛下が植えられた南部アカマツをお手入れされる両殿下 (15日・県民の森)



▲歓迎に集まった県民に優しく手をのべられる美智子さま(14日・県立博物館)



▲育樹祭で緑の少年団活動発表を行う岩手町・子抱山自然愛護少年団の代表(上)と誓いの言葉を述べる林業後継者の山中義一さん(岩手町・左下)と坂川郁子さん(大野村・右下)



◀岩手の特産ジョナゴールドの説明をお聞きになる両殿下 (13日・紫波町長岡中央果樹生産組合りんごわい化団地)

ホッケーの試合をご覧になった後、にこやかに選手たちを励まされる皇太子ご夫妻 (14日・岩手町総合グラウンド)



育樹祭式典後行われたキジの放鳥 (15日・県民の森)



▲県立博物館で板橋館長の説明をお受けになる両殿下 (14日)



▲耳の不自由な子供たちと乙部小学校児童の合同演奏に耳を傾けられる皇太子ご夫妻 (13日・県立盛岡聾学校小学部)